

最近東洋文庫において蒐集されたオスマン朝史
関係の文献およびマイクロフィルム (2・完)

永 田 雄 三

(三) マイクロフィルムによつて蒐集された写本類 (78点) (続)

(2) 断代史

15. ①Gelibolulu Mustafa Âlî ②Nusret-nâme (勝利の書) ③T. K. S., Revan, No.1928 ④Nasîh ⑤17世紀(?) ⑥良好 ⑦229 ⑧1578年から1589年にかけて、グルジャ、コーカサス方面を中心に戦われたいわゆるイラン戦役を扱う。著者はその保護者であり、この戦役の総司令官であつたムスタファ＝パシヤ(Lala Mustafa Paşa)の書記として現地へ随行した。その時の見聞、戦役の成りゆきをまとめたのが本書であり、ムラト三世(在位1574～1595)に献上された。

16. ①Mustafa Selânikî ②Târîh-i Selânikî (セラーニキーの歴史) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2259 ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥一部にかぶりあり ⑦471 ⑧本写本はすでに出版物の部で紹介された同名の年代記と同じものであるが、ただ本写本は出版に際して省略された部分、すなわち1592年から1599年にいたる部分をも含む。16世紀末のオスマン朝史研究に際してはしばしばこの写本が利用される。

17. ①İyânî Cafer ②Cihâd-nâme-i Hasan Paşa (ハサン＝パシヤのジハーダの書) ③M., Ali Emîrî ktb., No. 190 (Mikrofilm Arşivi, No. 755) ④Ta'lik ⑤記載はないが、著者の直筆のものと考えられる ⑥良好 ⑦40 ⑧著者は歴史家 İbrahim Peçevî Efendi の祖父であるといわれる。本書は Tiryakî Hasan Paşa (1611年没) の1591年から1606年にいたる、主としてハンガリー方面での活動(歴史上名高い Kanije 防衛)を扱う。

18. ①Mustafa Saff ②Zubdat al-Tavârih (歴史の精髓) ③D., Veliyüddin ktb., No. 2428, 2429 (Mikrofilm Arşivi No. 724, 725) ④Nasîh ⑤記載はないが著者の直筆のものと考えられる ⑥良好 ⑦775 ⑧著者(1616年没)はアフメト一世(在位1603～1617)のイマーム職を務めた人。本書はアフメト一世自

身の要請により、Hoca Sadeddin Efendi の有名な「歴史の王冠」の続編として執筆されたもので、アフメト一世の即位から1023(1615/6)年末までの諸事件を詳述する。本書は2巻から成っているが、著者は1024(1616/7)年以降を第3巻としてさらに記述するつもりであつたがこの年に病歿した。

19. ①Bostan-zâde Yahyâ Efendi ②Vak'a-ı Sultan Osman (オスマン二世殺害事件) ③T.K.S., Revan, No. 1305 ④Nasîh ⑤18世紀? ⑥良好 ⑦65 ⑧著者(1553~1644)はオスマン朝を代表する宮廷詩人の一人。4回にわたつてシェイヒュル=イスラム (イスラム最高長官) 職を務めており、政治的にも大きな役割を果たした。本書はオスマン二世 (在位 1618~1622) の死をもつておわつた1622年のイエニチェリ反乱を中心に、ムラト四世 (1623~1640) の即位にいたるまでの諸事件を扱う。なお事件当時、著者はカザスケルとしてイスタンブールにおり、この事件の一部始終を目撃しているところに本書の価値がある。

20. ①Abdurrahman Hibrî Efendi ②Defter-i Ahbâr (諸事控) ③D., Veliyüddin No. 2418 (Mikrofilm Arşivi No. 726) ④Nasîh ⑤記載はないが著者の直筆によるものと思われる ⑥良好 ⑦73 ⑧本書はオスマン二世からイブラヒム一世 (在位1640~1648) にいたる時期を扱う断代史であるが、最後に著者の生きた時代までの歴代のサドラザム (大宰相)、シェイヒュル=イスラムなどの伝記集をも附加している。

21. ①Mülhemî İbrahim Efendi ②Murâd-nâme (ムラト四世伝) ③S., Esad Ef. kbt., No. 2149 ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦262 ⑧著者(1650年没)は数学者・詩人。本書はムラト四世伝として知られているが、オスマン朝以前のイスラム諸王朝史にも言及するところが多く、通史としての性格を持つ。

22. ①Mülhemî İbrahim Efendi ②Şehinşâh-nâme-i Murâd (ムラト四世伝) ③T.K.S., Revan, No. 1418. ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦161 ⑧本書は前段で紹介された著者が、さらに話題をしぼつてムラト四世の宮廷生活と諸征服事業をデスターン (史詩) 調で謳い上げたもの。

23. ①Topçular Kâtibi Abdülkadir ②Vekâyi'-i Tarihyye (歴史の諸事件) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2151 (Mikrofilm Arşivi No. VII-54) ④Nasîh ⑤17世紀? ⑥一部解読不可能 ⑦322 ⑧著者に関しては現在までなにも知られていないが、その名に冠せられた官職名から伺われるように砲兵軍団の一書記であつたと推定される。本書は他の年代記と違つて平易な文体と素朴な表現とを持ち、17世紀のオスマン語文献史料の中に特異な地位を占める。内容は編年体で、16世紀末~1643年にいたる諸事件を詳述する。

24. ①Anonymous ②Gazâ-nâme-i Halil Paşa (ハリル=パシャのガザーの書) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2139 ④Nasîh ⑤17世紀 ⑥良好 ⑦139 ⑧Halil Paşa (1629年没)はムラト四世時代に二度サドラザムを務めたアルメニア

人宰相。本書はその家臣の一人と思われる者の手に成り、パシャのイラン及びオーストリア戦役、ジェラーリー反乱の鎮圧に示した功績をたたえる目的をもつて書かれた頌詩。

25. ①Şipâhî-zâde ②Feth-nâme (征服の書) ③S., Hekimoğlu Ali Paşa kbt., No. 783 ④Ta'îlk ⑤記載なし ⑥良好 ⑦81 ⑧本書は1649年のクレタ島攻略から1658年の Yanova(Jenoe) 城塞の征服までを扱う。

26. ①Vecîhî Hasan Efendi ②Târîh-i Vecîhî (ヴェジーヒーの歴史) ③S., Hamidiye ktb., No. 917/2(Mikrofilm Arşivi No. 1307) ④Nasîh ⑤1108 (1696/7) から 1137(1724/5)の間に作成されたと推定される ⑥一部不明瞭 ⑦99 ⑧写本作成者の記すところによれば著者 (1667年没) は有名な Kemankeş Kara Mustafa Paşa (1644年没) の秘書の一人 (Mühürdâr) であつたという。本書は1638年におけるムラト四世のバグダード遠征から1661年までを扱うが、これに写本の作成者である Hasan Ağa-zâde Hacı Abdullah によるムスタファ二世 (在位1692~1703) のオーストリア戦役 (1108—1696/7—) 史がつけ加えられている。

27. ①Hasan Ağa ②Cevâhir al- Tavârih (歴史の精華) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2242 ④Ta'îlk ⑤1080(1669/70)? ⑥良好 ⑦128 ⑧著者はエルズルム出身のウレマー。本書は Köprülü-zâde Fâzıl Ahmed Paşa (1635~1676) 伝であり、その幼年期よりクレタ島征服 (1669) までを扱う。本写本の作成年代には疑問の余地があるがクレタ島征服直後に、パシャのこの偉大な功績をたたえるために著わされたものと思われる。

28. ①Elhac Ali Efendi ②Târîh-i Kamanîçe (カマニチェ征服史) ③Lala İsmail Ef. ktb., No. 308 ④Nasîh ⑤17世紀 ⑥良好 ⑦136 ⑧本書は1672年におけるメフメト四世 (1648~1687) のポーランド遠征に随行した著者によるその宿営日誌である。往復87の宿営ごとに、その様子、そこにおけるスルタンと軍団の行動などが記録されている。Kamanîçe は欧米文献における Kaminiec Podolski, Kamenetz のこと。

29. ①Behçetî Hüseyin Efendi ②Zafer-nâme (勝利の書) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2368 ④Ta'îlk ⑤17世紀末 ⑥良好 ⑦180 ⑧著者 (1682年没) は詩人であり、また学者で Hâfız Ahmed Paşa (Köprülü Mehmed Paşa の孫) のイマーム職を務めた。本書は著者自身が参加した1677年における Merzifonlu Kara Mustafa Paşa の Çehreyn(Czehryn) 遠征史である。著者は遠征からイスタンブルへ戻つた直後の1679年に本書を執筆した。

30. ①Abdurrahman Abdî Paşa ②Vekâyi'-nâme (年代記) ③T.K.S., Bağdad No. 217 ④Nasîh ⑤1724年 ⑥良好 ⑦176 ⑧著者 (1692年没) は1669年にニシャンジ (国璽尚書, Nişancı あるいは Tevki'î) に任ぜられ、後に

バスラ知事となつた人物。1676年に Merzifonlu Kara Mustafa Paşa の命により、オスマン朝史上に有名な法令集（カーヌーン＝ナーメ）、Tevki'î Abdurrahman Paşa Kânûnnâmesi を蒐集したことで知られる。本書は、1663年から1682年までの間、オスマン朝史上はじめての修史官（Vak'anüvîs）に任ぜられたといわれる著者が、メフメト四世の即位（1648）から1682年に至るまでの時期を詳細に記録したもの。いわゆる修史官による年代記の最初のものといわれる。

31. ①Râmî Mehmed ②Vekâyi'-i Musâlaha（和平の書）③S., Reşid Ef. ktb., No. 685 ④Ta'îk ⑤記載なし ⑥良好 ⑦94 ⑧本書は1699年におけるカルロフチャ条約締結の事情を記す。

32. ①Anonymous ②Sulhnâme-i Amca-zâde Hüseyin Paşa（ヒュセイヌ＝パシャの和平の書）③T.K.S., Revan No. 1311 ④Nasîh ⑤1143（1730/1）⑥良好 ⑦128 ⑧本書もまた、カルロフチャ条約の締結に関するトルコ側使節の行動を詳細に記録したもの。

33. ①Defterdâr Sarı Mehmed Paşa ②Zubdat al-vaḳāyi'（諸事件の精髄）③S., Esad Ef. ktb., No. 2382 ④Nasîh ⑤記載なし ⑥良好 ⑦244 ⑧著者メフメト＝パシャ（1717年没）はイスタンブルに生れて、官吏となつた。1705年にはじめてデフテルダル（Defterdâr：財務長官）に昇進し、その後1712年までに数回この職に任ぜられたが、1717年、サロニカに知事として赴任した際に不手際があつて処刑された。本書は1671年から1703年までを扱い、この時期に関する最も重要な文献史料の一つに数えられている。

34. ①Sâkıb Mustafa ②Kanz al-Vaḳāyi'（諸事件の秘宝）③M., Ali Emîrî Ef. ktb., No. 490（Mikrofilm Arşivi No. 744）④Ta'îk ⑤1118（1706/7）？ ⑥良好 ⑦10 ⑧アフメト三世（在位1703～1730）時代のマラシュ（Maraş）州知事 Mustafa Paşa の1706年における匪賊討伐記。著者はパシャの書記の一人。

35. ①Silahdâr Fındıklılı Mehmed Ağa ②Nusret-nâme（勝利の書）③D., Veliyüddin No. 2369（Mikrofilm Arşivi No. 768）④Ta'îk ⑤記載はないが著者直筆のものといわれる ⑥良好 ⑦326 ⑧著者（1658～1724）は長く宮廷に仕え、第二次ウィーン包囲（1683）をはじめ、さまざまな事件を目撃したムスタファ二世の侍従（Silahdâr）。本書は Kâtib Çelebî の「要約（Fezleke）」の続編として著わされたもので、その第一部はすでに「Silahdâr Tarihi」（2 vols., Istanbul 1928年）として出版されている。この Nusret-nâme はその第二部にあたり、1695年から1721年にいたる時期を扱う。非常に克明な記録で、17世紀末から18世紀初頭に関する最も重要な文献の一つとして知られる。なお本書の現代語訳（İsmet Parmaksızoğlu, Nusret-nâme, İstanbul, 1962～64）が進められているが、未だ完成されていない。

36. ①Salâhî Efendi ②Zabt-ı Vekâyî-i Yevmiye (日常の諸事象に関する記録) ③UNV., No. T2518 ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦198 ⑧著者については不詳であるが、帝室財政局の書記長 (Hazine-i Hassa Ser Kâtibi) であつた人物と思われる。本書は1735年から1738年にいたる時期における宮廷生活、政治的諸事件を日記風に記録したもの。

37. ①Sâlih-zâde Numan ②Tedbîrât-ı Pesendide (卓越せる戦略) ③S., Resid Ef. ktb., No. 667 ④Nasîh ⑤1166(1752/3) ⑥良好 ⑦167 ⑧著者については不詳であるが、ディヤルバクル出身のウレマーで Hekimoğlu Ali Paşa の保護を受けた人物と思われる。本書はその Ali Paşa に捧げられたもので、パシャのイランおよびオーストリア方面での戦勝をたたえる。

38. ①Abdurrazzak Nurs Efendi ②Risâle (書簡) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2252 (Mikrofilm Arşivi No. 160) ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦30 ⑧著者は Hekimoğlu Ali Paşa の家臣の一人と思われる。本書は1143(1730/31)年当時、ディヤルバクル州知事であつた Ali Paşa とサファビー朝のシャー＝タフマースプとの間のレヴァン (Revan, 現 Erivan) 戦役の記録。

39. ①Mehmed Âkif ②Târîh-i Cûlûs-ı Mustafa Hân (ムスタファ三世即位録) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2108 ④Nasîh ⑤記載なし ⑥良好 ⑦290 ⑧著者はムスタファ三世(在位1757～1774)の即位と共に修史官に任ぜられ、1760年までこの職にとどまつた。本書はその間のスルタンの行動、宮廷の生活、高官の任免などを記録したもの。

40. ①Sadullah Enverî Efendi ②Târîh-i Enverî (エンヴェリーの歴史) ③UNV., No. T5994, 5995 ④Nasîh ⑤1194(1780/1) ⑥良好 ⑦718 ⑧著者(1736～1796)は1769年から1791年までの間に4度修史官に任ぜられた。本書は1767年から1791年までを含み、全三巻から成る修史官の記録。Ahmed Vâsîf Efendi の「Maḥâsin al-Âşâr wa Ḥakāyik al-Aḥbâr (諸作品の精華と諸事件の本質)」と Ahmed Cevded Paşa の「Târîh-i Cevded (ジュヴデト＝パシャの歴史)」との有力な史料源の一つとして知られる。

41. ①Seyyid bin Halil İbrahim ②Târîh-i Sefer-i Rus (露土戦役史) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2143 ④Ta'lik, Dîvânî ⑤1234(1818/9) ⑥良好 ⑦108 ⑧本書は主として、1767年から1774年にいたる露土戦争期におけるトルコ側の軍事・財政・政治事情を扱う。このほかにも、イエニチェリ軍団組織やセリム三世(在位1789～1807)の廃位をめぐる事件などに関する記述をも含む。

42. ①Kisbî Mustafa ②İbret-nümâ-ı Devlet (国政への勧告) ③M., Ali Emîrî Ef., No. 484 ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦90 ⑧本書は露土戦争(1768～1774)に関してよく知られた基本文献の一つ。各所にオリジナルな内容を持つ記述や数字がみられる。

43. ①Mehmed Necâtî ②Târîh-i Kırım (クリム事情) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2278 ④Ta'lik ⑤1199(1784/5) ⑥良好 ⑦45 ⑧著者は露土戦争(1768~1774)当時、財務局関係の官吏であつた。スルタンの命を受けてクリミア半島方面司令官 İbrahim Paşa のもとへおもむき、そこでパシャもろとも、ロシア軍の捕虜となつた。本書はその間の事情とクリミア方面の戦況を伝える。なお F.R. Unat, Kırım Tarihi veya Necati Efendinin Rusya Sefaretnamesi (Tarih Vesikaları, Vol. 3, No. 14~15) は、本写本を定本とした本書のローマ字転写による紹介である。

44. ①Arap-zâde Hüseyin Râmis Efendi ②Zubdat al-Vak'ât (諸事件の精髓) ③UNV., No. 2395 ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦23 ⑧露土戦争(1768~1774)に関する記録の一つ。オスマス軍団のイスタンブル出兵から1773年 Cânikli Ali Paşa のクリミアへの出征までを含む。

45. ①Anonymous ②Târîh-i Silistre (シリストレ戦線史) ③S., Reşid Ef. ktb., No. 625 ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦67 ⑧露土戦争(1768~1774)中、1771年から1774年までシリストレ方面軍司令官を務めたアダナ地方のデレベイ (Derebeyi), Hasan Paşa の活動を記録したもの。

46. ①Çâkerî ②Gazâvât-ı Hasan Paşa (ハサン=パシャのガザーの書) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2149 (Mikrofilm Arşivi No. 688) ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦157 ⑧Cezâyirli Gâzî Hasan Paşa (1710~1790) はオスマン朝きつての海軍提督。その生涯は波乱に満ちているが、本書では主として露土戦争(1768~1774)期とそれ以後の時期におけるパシャの活動を扱う。

47. ①Ahmed Vâsîf Efendi ②Târîh ③UNV., No. T4243 および T9672 ④Nasîh ⑤(後述) ⑥良好 ⑦381 ⑧著者(1806年没)はすぐれた著述家、歴史家として知られる。1786年にスペインへ使節として派遣された後、1805年には外務大臣に相当する Reisülküttâb に任命された。本書は著者の「諸作品の精華と諸事件の本質 (Maḥâsin al-Âşâr wa al-Ḥaḳâyik al-Aḳbâr (通称、ワースフの歴史 Târîh-i Vâsîf))」(2 vols., Bulak, 1246 [1830/31]) とは別。著者の修史官時代の記録で、セリム三世の即位から1795年までを含む。なお、③に示された二つの写本番号のうち、No. T9672 は著者自身の筆によるもので、No. T4240 は1270(1853/4) 年の写本である。

48. ①Nurî Halil Bey ②Târîh (歴史) ③UNV., No. T5996 ④Ta'lik ⑤1214(1799/1800) ⑥一部不明瞭 ⑦293 ⑧著者(1798年没)は Vâsîf Efendi の後を受けて修史官に任ぜられた。本書は1795年から1800年までを含む。

(3) 論 説

49. ①Kınal-zâde Hasan Çelebî ②Kınal-zâde Tezkeresi (クナル=ザーデの書簡) ③T.S.K., Revan, No. 1451 ④Nasîh ⑤995(1586/7) ⑥良好

⑦381 ⑧著者(1535年没)は文学者 Kınal-zâde Ali Efendi の息子としてゲリボル(Gelibolu)に生れ、カーディ(法官)として諸国を遍歴した。本書は主として歴史、文学を題材とし、オスマン文学を代表する作品の一つに数えられている。詩人、文学者、歴史家の伝記を多く含む伝記集成としても重宝である。

50. ①Gelibolulu Mustafa Âlî ②Hilyat al-Ricâl(賢者伝) ③S., Hacı Mahmud ktb., No. 2814 ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦31 ⑧オスマン朝を代表する著述家である著者の予言者・聖者論。

51. ①Anonymous ②Mukaddime-i Kavânin-i Teşrifât(儀礼法典序説) ③UNV., No. T220 ④Ta'lik ⑤18世紀末? ⑥良好 ⑦59 ⑧標題から伺われるように、本書は儀礼法典を蒐集したと思われる著者がこれを紹介するにあたって、その序として執筆したものの。各官位とその官位にある者の心得を記したものであるが、本文である《儀礼法典》が実際に作成されたか否かは知られていない。アフメト三世時代の作。

52. ①Defterdâr Sarı Mehmed Paşa ②Nasāyih al-Umarā(諸賢臣達の忠言) ③S., Esad Ef. ktb., No. 1830 ④Nasîh ⑤記載なし ⑥良好 ⑦60 ⑧著者自身の語るところによれば、本書は著者が修史官として著わした「諸事件の精髓」において語り得なかつた国政に関する著者の意見を、歴代の諸宰相たちの言葉を借りて吐露したもの。

53. ①İsmail Ziyâî ②Risale(書簡) ③UNV., No. T2486 ④Nasîh ⑤1174(1760/61) ⑥やや不明瞭 ⑦302 ⑧著者は Hekimoğlu Ali Paşa の息子。本書は Ali Paşa をたたえる目的で執筆されているが、内容的にはマフムート一世(在位1730~1754)とオスマン三世(在位1754~1757)時代に関する評論として知られている。

54. ①Cânikli Ali Paşa ②Risale(書簡) ③S., Esad Ef. ktb., No. 1855 ④Nasîh ⑤1197(1782/3) ⑥良好 ⑦79 ⑧著者(1785年没)は黒海沿岸のスイノプ(Sinop)とチャンクル(Çankır)を足場に地方政権を築いたアナリア地方きつてのデレベイ(Derebeyi)の一人。本書は著者がトラブズン州のヴァーリー(知事)職にあつた時代に執筆されたもので、著者自身が精通しているクリミヤ方面の事情を中心に、オスマン軍団の実情、国政改革などに関する意見を率直に述べている。

(4) 伝記集成

55. ①Gelibolulu Mustafa Âlî ②Manâkib al-Anbiyâ(予言者伝) ③S., Hacı Mahmud Ef. ktb., No. 4505 ④Nasîh ⑤1230(1813/4)? ⑥良好 ⑦196 ⑧アダムからキリストにいたる予言者伝。

56. ①Resmî Ahmed Efendi ②Halifât al-Ruasâ(名士達の後裔) ③S., Halet Ef. ktb., No. 597 ④Nasîh ⑤1284(1867/8) ⑥良好 ⑦50 ⑧著者

(1700～1783)は露土戦争(1768～1774)に関する論説,「諸事件の要約(Hulâsat al-Aḥbâr)」((Istanbul, 1286—1869/70—)の著者として知られる老練な政治家。1763年にはムスタファ三世によつてフレデリック大王のもとへ使節として派遣された。本書は著述家64名の伝記集。

57. ①Hüseyin Ayyansarayî ②Mecmua-ı Terâcim (伝記集成) ③UNV., No. T2539 ④Nasîh ⑤記載なし ⑥一部不明瞭 ⑦131 ⑧アブデュル＝ハミト一世(在位1774～1789)時代にいたる歴代のスルタン, 宰相, ウレマーに関する簡潔な伝記集。

(5) 雑録およびカーヌーン＝ナーメ

58. ①Anonymous ②Münşeat (修辭帳) ③S., Esad Ef. ktb., No. 3879 ④Divânî ⑤記載なし ⑥良好 ⑦137 ⑧本書の性格はいわゆる修辭法の手本である。たとえば, Dost-nâme(友好の書), Feth-nâme(征服の書), Muhabbet-nâme (友愛の書)などの名が見えるが, 手本として示されたものの中には史料価値の少なくないものが多い。本書の成立年代は明らかではないが例文として示されているものは16世紀前半に関するものが多い。

59. ①Sarı Abdullah Efendi ②Dustûr al-Înşâ (名文集) ③UNV., No. T3110 ④Nasîh ⑤17世紀? ⑥良好 ⑦335 ⑧著者(1584～1660)はReisü'l-küttâbを務めた政治家であるが, スーフィ思想にすぐれた著述家でもある。本書は著者の代表作である。バヤズィド二世(在位1481～1512)からムラト四世時代にいたる手紙, 書簡類 170 点を含む。このうち, イランのシャー達との間に交わされた交信が Ch. Schefer, Chrestomathie Persane (Paris 1885) に収録されている。

60. ①Anonymous ②Mecmua (雑録) ③S., Esad Ef. ktb., No. 3436 ④Ta'lik, Divânî ⑤記載なし ⑥良好 ⑦219 ⑧著者はムラト三世(在位1574～1595)に仕えた人と思われる。本書もまた修辭法の手本としての性格を持つ。スルタンや高官の手紙・書簡類, 上奏文, 各種認可状(Berat)を含む。著者は能書家(Hattat)でもあるとみえて随所に能書術に関する記述や例文がみられる。本書の第79葉に 1001(1592/3) 年という字がみえるところから, この年の前後に書かれたものと推察される。

61. ①Anonymous ②Mecmua (雑録) ③T.K.S., Revan, No. 1310 ④Divânî ⑤1123(1711/2) ⑥一部は水をかぶつており解読困難 ⑦119 ⑧本書は第二次ウィーン遠征(1683)への従軍日誌を中心として, その前後における日常的事件を記録したもの。R.F. Kreutel, Kara Mustafa vor Wien (München, 1967)においても本写本が一部利用されている。

62. ①Anonymous ②Mecmua(雑録) ③S., Esad Ef. ktb., No. 3362 ④Ta'lik ⑤18世紀初頭? ⑥良好 ⑦51 ⑧アフメト三世と思われるスルトンの

側近に仕える者の手になる記録。宮廷生活、官僚達の任免を中心に日々の出来事を簡潔に著わしたもの。

63. ①Anonymus ②Mecmua(雑録) ③S., Esad Ef. ktb., No. 3362 ④Ta'lik ⑤18世紀中葉 ⑥良好 ⑦20 ⑧ムスタファ三世時代のウレマーの手になり、高官の任免、モスクの建造やイスタンブールなどにおける諸事件を簡単に記したもの。

64. ①Hüseyin Ayvansarayî ②Mecmua-ı Tevârih (歴史集成) ③T.K.S., Hazine, No. 1565 ④Na'ish ⑤19世紀? ⑥良好 ⑦295 ⑧歴史上の逸話、詔勅、高官・ウレマーの伝記などを集めたもの。

65. ①Anonymus ②Kânûn-nâme (カーヌーン=ナーメ) ③D., Veliyüddin, No. 1969 ④Nasîh ⑤1177(1763/4) ⑥一部不明瞭 ⑦230 ⑧写本作成者と思われる者の手によつて冒頭に Kânûn-name-i Sultan Süleyman Hân という見出しが附せられているが、その内容は Târîh-i Osmânî Encümeni Mecmuası (オスマン朝史協会:以下 T.O.E.M. と略記) に紹介されたいわゆる《スレイマン大帝の法典》とは別である。第130葉附近から、いわゆる《スレイマン大帝の法典》に類するカーヌーン=ナーメがおさめられ、さらに多くの詔勅やナーメ(書状)類がこれに附加されている。

66. ①Anonymus ②Kânûn-nâme ③D., Veliyüddin, No. 1970 ④Nasîh ⑤記載なし ⑥良好 ⑦173 ⑧本書はスルタンの勅令集としての性格を持つカーヌーン=ナーメに属する。その多くは900(1495~1590)年代の日附を持ち、厳密な史料批判を加えることによつて文書史料集としてこれを利用することが可能である。写本作成年代は不明であるが、書体から判断すると18世紀以降のものではないと判断される。

67. ①Anonymus ②Kânûn-nâme ③Âtîf Ef. ktb., No. 1734 ④Nasîh ⑤1090 (1679/80)? ⑥良好 ⑦287 ⑧本書の第68葉から121葉にいたる部分が、T.O.E.M. に紹介されたいわゆる《スレイマン大帝の法典》である。この他に Millî Tettebbular Mecmuası に紹介された Tevki'î Abdurrahman Paşa のカーヌーン=ナーメにみられる質疑応答形式のもの、勅令集形式をとるカーヌーン=ナーメ、あるいはまた Ahid-nâme (条約書), Menzil-nâme (宿営日誌) などさまざまな内容を持つ史料を含む。なお末葉に記された写本年代はかならずしも写本全体に係わるものではなく、また写本作成者も数人におよぶと思われる。

68. ①Anonymus ②Kânûn-nâme ③S. Âşir Ef. ktb., No. 1004 (Mikrofilm Arşivi No. 231) ④各種 ⑤16世紀? ⑥一部不明瞭 ⑦180 ⑧本書もまたさまざまなカーヌーンを含む。冒頭の部分は Nişancı Celâl-zâde の蒐集したもの。第40葉から67葉までが、T.O.E.M. のいわゆる《スレイマン大帝の法典》

である。

69. ①Anonymous ②Kavânî-i Osmâniyân (オスマン王家の諸法令) ③UNV., No. T2753 ④Ta'lik ⑤記載なし ⑥良好 ⑦109 ⑧冒頭から第34葉までが, T.O.E.M. の《スレイマン大帝の法典》である。このほかに詔勅, カースーン, Yasakname (禁令書) などの断片を含む。

70. ①Anonymous ②Kânûn-nâme-i Osmânî (オスマン王家の法典) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2362 ④Divânî ⑤16世紀? ⑥良好 ⑦165 ⑧本書もまたさまざまな形式を持つカースーンや詔勅を集めたものである。冒頭から第31葉までが, T.O.E.M. の《スレイマン大帝の法典》である。

71. ①Anonymous ②Esâs-ı Nizâm-ı Yeniçeri (イエニチェリ軍団基本法典) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2068 ④Nasîh ⑤17世紀? ⑥良好 ⑦132 ⑧デヴシルメに関する規則を中心とし, またイエニチェリ軍団の規律や軍団員の処遇に関する詔勅が数多く蒐集されている。その中にはメフメト三世(在位1595~1603)の詔勅がみられるところから, 本書の成立年代はそれ以前にはさかのぼり得ない。

(5) そ の 他

72. ①Ahmedî(?) ②İskender-nâme(アレキサンダー大王伝) ③S., Çelebî Abdullah ktb., No. 240 ④Nasîh ⑤16世紀? ⑥良好 ⑦366 ⑧本書はイランを中心として西アジアから中央アジアにかけて広範に読まれたという, いわゆる《イスカシダル=ナーメ》の一種。本書の著者については, 第305葉に, 本書が792年の第4月(Rebi'ulâhîr 月: 1389年3月~4月)に完成されたところから, Ahmedî であると考え得る。

73. ①Pîştînelî Mesîhî İsmâ ②Dîvân (詩集) ③UNV., No. T899 ④Ta'lik ⑤16世紀? ⑥良好 ⑦128 ⑧著者(1512年没)はオスマン朝初期の代表的な詩人。本書はバヤズィド二世時代の歴史に題材をとった詩集である。

74. ①Mehmed Âşkî ②Manâzîr al-'Avâlim (地理誌) ③S., Esad Ef. ktb., No. 2421 ④Nasîh ⑤記載なし ⑥良好 ⑦577 ⑧著者に関しては不詳であるが, キャーティブ=チェレビーによれば (Kâşî al-Zunûn, Vol. 2, Istanbul, 1943, P. 1833), Muḥammad b. Shāhin Shāh, İbn Khurdādhbeh, Kāzvinî などの地理書にもとづいて 1005(1596/7)年から 1598 年にかけてダマスカスにおいて書かれたことが伺われる。欄外に写本作成者によるものと思われる詳細な註釈が加えられている。

75. ①Gelibolulu Mustafa Âlî ②Mir'ât al-Avâlim (諸国の鏡) ③S., Hacı Mahmud ktb., No. 4973 ④Nasîh ⑤記載なし ⑥一部不明瞭 ⑦21 ⑧予言者達の行なつた奇跡を集めた小論。1577年に書かれ, セリム二世(在位1566~1574)に献上された。

76. ①Gelibolulu Mustafa Âlî ②Ḥalât al-Kāhira (カイロ事情) ③S.,

Esad Ef. ktb., No. 2407; S., Fâtih ktb., No. 5427/4 ④Ta'îk ⑤1159(1746/7), 1034(1624/5) ⑥良好 ⑦44, 66 ⑧本書は、この大著述家の最後の作品で、1599年に書かれた。内容はカイロおよびメッカ、メデナ方面のオスマン朝地方行政の乱れとその原因とを論評するもの。

77. ①Kâtib Çelebî ②Zeyl-i Cihân-nümâ (続世界の鏡) ③S., Halet Ef. ktb., No. 640 ④Nasîh ⑤1108(1696/7) ⑥良好 ⑦169 ⑧本書は著者の代表作である《Cihân-nümâ》のうち、未出版のまま残されたルーメリアに関する部分である。İbrahim Müteferrika は1732年に《Cihân-nümâ》を出版した際、第1部としてアジアに関する部分を出版し、ヨーロッパに関する部分を第2部として出版する予定であつたがこれを果せなかつたといわれる。アジア、ヨーロッパいずれの部分についても数十種類の写本がある。

78. ①Yirmisekiz Çelebî Mehmed Efendi ②Sefaret-nâme (使節録) ③S., Reşid Ef. ktb., No. 630 ④Ta'îk ⑤記載なし ⑥やや不明瞭 ⑦20 ⑧著者(1732年没)はチューリップ時代を代表する知識人・政治家、オスマン朝へフランス文化の導入につとめた。本書は著者が1720年にパリへ使節として派遣されたときの記録である。

以上は筆者がイスタンブール滞在中に、東洋文庫から依頼されて蒐集した古書籍及びマイクロフィルムである。なお写本の分類は、筆者の時間と能力とが許す範囲内で仮に行なわれたものである。より厳密な分類とそれぞれの写本についての史料価値評価とは今後に残された課題である。(完)

〔追記〕最近東洋文庫では、故 Franz Taeschner 教授旧蔵の若干の書籍を購入し得たが、その中には次のものがみえている。

1) Th. Menzel, Cihānnümā, Die altosmanische Chronik des Mevlāna Meḥemmed Neschrî, Text des Cod. Manisa 1373, Band 1~2., Leipzig, Otto Harasowitz, 1951, 1955.

2) 'Āşık Paşa-zāde, Tevârih-i Âl-i Osmân. Photographed copy of the Oxford MS. fragment [Cat. Ethé no. 2049]. (19 leaves Turk t. in Arab. Char.)

3) Kitābhâne-i İkdām: Seydî Reis, Mir'at al-Mamālik; Mehmed Sirâceddin, Mecma'-i Şu'arâ; Müstakim-zāde, tr., Fıkh-ı Ekber Tercümesi, Abû Ḥanîfa; Mîr Ali Şîr Nevâ'i, Muḥākamat al-Luġatayin; Mehmed Emin Nahîfî Efendi, Sefaret-nâme-i Abdülkerîm Paşa; Gelibolulu Mustafa Âlî, Heft Meclis. Istanbul, 1313(1897/8).

4) Osman Ergin, Mecelle-i Umûr-ı Belediye, Vol. 1, Istanbul, 1338(1922).

5) İstanbul Üniversitesi İktisat Fakültesi Mecmuası, Vol. 11, No. 1~4

(1949), Vol. 15, No. 1~4 (1953~54), Vol. 17, No. 1~4 (1955~56), Vol. 23, No. 1~2 (1962~63).

集

(なお、本文においてアラビア文字のローマ字転写に際しては、現在トルコ共和国で行なわれている慣用に従がつた。ただし、アラビア語による標題のものはトルコ語版イスラム百科事典における転写法によつた。)

報

永
田